

マツダ研究助成募集要項

—科学技術振興関係—

1. 助成の趣旨

天然資源に恵まれない我が国においては、科学技術の育成・振興が重要な課題であります。このために、本財団は、主として科学技術に関する学術研究に対して助成し、振興をはかることにより、調和のとれた科学技術の向上をめざし、文化への貢献ならびに広く社会の発展に寄与することを目的としています。

2. 助成対象となる研究分野

助成の対象は、現在ならびに将来にわたって解決が求められている科学技術に関する基礎研究および応用研究といたします。

特に次のような研究分野の先進的・独創的な研究を期待します

(1) 機械に係わる研究分野

機械力学、熱・流体力学、材料力学、機械加工、成形加工、設計・生産工学、計測制御、ロボティクス・メカトロニクス、機械材料などに係わる研究分野

(2) 電子・情報に係わる研究分野

計算機、情報処理、情報通信、回路設計、人工知能、ロボティクス・メカトロニクス、マルチメディア、計測制御などに係わる研究分野

(3) 化学系材料に係わる研究分野

無機材料、有機・高分子材料、複合材料の開発と高機能化に係わる研究分野（ただし、バイオ系材料や有機合成を主とする材料研究は対象外。デバイス色の強い材料研究は、次の「(4) 物理系材料に係わる研究分野」に申請下さい。）

(4) 物理系材料に係わる研究分野

金属材料、半導体、超伝導体、誘電体、磁性材料、光・量子エレクトロニクス、機能デバイスなどに係わる研究分野

また、上記各研究分野において、循環・省資源に寄与する研究を歓迎します。

3. 応募資格

日本国内の大学（含、附属研究機関）、高等専門学校に所属（常勤）して、自然科学・工学技術分野の基礎的・応用的研究に従事し、その研究成果が科学技術の進歩・発展に貢献するところが大きいと思われる研究者単独、または有資格研究者を代表とする研究グループとします。特に若手研究者の応募を歓迎します。

なお、過去に当財団の研究助成を受けた方は、助成期間終了から4年経過後、再応募可能です。ただし、新規テーマに限ります。

また、申請に際しては所属機関または部局等の代表者（学部長、研究科長、研究所長、校長等）の推薦を必要とします。

4. 助成金額と件数

助成総額は3,000万円、採択件数は25件程度とします。
1件あたりの助成金額は、上限200万円とします。

5. 助成期間

1年または2年とします。

6. 助成金の交付

研究計画に従い、決定通知に記します。

7. 助成金の使途

研究経費の使途は、設備備品費、消耗品費、旅費、謝金、その他諸経費とします。

8. 応募手続

応募は『電子申請』と『用紙申請』の両方を必要とします。電子申請書で仮受付けした後、所属長の推薦を得た用紙申請書の受理をもって正式の受付けとします。

(1)電子申請・・・電子申請書(電子ファイル形式の申請書)の送付

申請書のフォーマットをマツダ財団のホームページからダウンロードし、電子申請書を作成の上、同ホームページの「電子申請画面」から送信するものとします。送信後、メールにて「電子申請受付通知」が返信されます。電子申請書は選考審査用の電子情報として使わせていただきます。

(2)用紙申請・・・用紙申請書(電子申請書の印刷物)の郵送

用紙申請書に「電子申請受付通知」記載の「受付番号」を記入し、研究代表者(申請者)が所属する機関または部局等の代表者の推薦(承認印)を得て、本財団宛に郵送するものとします。

申請手続の詳細については、末尾の申請方法をご覧ください。

9. 応募締切日

- ・ 電子申請・・・2010年6月3日(木)
- ・ 用紙申請・・・2010年6月10日(木) (必着)

10. 選考方法

下記の選考委員会において選考いたします。

マツダ財団選考委員会(科学技術振興関係)
委員長 山中昭司 他8名

11. 助成の決定

助成の対象は、選考委員会にて選考の上、本財団理事会にて決定します。

12. 助成決定の通知

助成対象が決定次第、推薦者と申請者に対し、採否、助成金額および交付時期をお知らせします。ご通知時期は9月末の予定です。

(留意事項)

- (1) 助成金の受領者には、研究中間経過、研究成果および助成金の使途明細を、それぞれ所定の用紙により、下記の期日までに報告いただきます。
 - ・1ヶ年助成 …… 研究完了報告（交付1年半後 2012年 3月末日）
 - ・2ヶ年助成 …… 研究中間報告（交付1年後 2011年11月末日）
研究完了報告（交付2年半後 2013年 3月末日）
- (2) 助成金の受領者には、研究成果の公表をお願いいたします。研究成果を投稿・公表される場合は、「(財)マツダ財団研究助成による研究」(by a research grant from The Mazda Foundation)であることを明記してください。
- (3) 本財団の記録にとどめるため、投稿・公表された印刷物あるいはその写しを当財団に送付願います。
なお、(2)、(3)については、助成終了後の投稿・公表の際も、同様に願います。
- (4) 本財団が助成事項について調査や報告を要請する場合にはご協力願います。
- (5) その他、次の点についてご了承ください。
 - a. 申請いただきました助成対象研究分野は、選考審査の適正化のため、他の分野へ変更する場合があります。
 - b. 助成対象の採否決定理由のお問合せには応じかねます。
 - c. お送りいただきました申請書の返却はいたしません。

(申請書の提出・連絡先)

財団法人 マツダ財団事務局

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号
マツダ株式会社内

TEL ; (082)285-4611(代表) (082)565-0461(担当)

FAX ; (082)285-4612

e-mail; mzaidan.kk@mail.mazda.co.jp

ホームページ; <http://mzaidan.mazda.co.jp/>

(申請方法)

(1) 申請書の入手

- ・申請書はマツダ財団ホームページからダウンロードして入手してください。
(申請書は次の2つのファイルで構成されています。)

- ①申請書(表紙) …… Microsoft Excel 2003 版
ファイル内のシート(2枚):【入力用】、【印刷用】
- ②申請書(本文) …… Microsoft Word 2003 版

(2) 申請書の作成

a) 申請事項の記入

①申請書(表紙) 【入力用】・【印刷用】の2つのシートから構成されています。

- ・【入力用】シートを開き、各記入欄の注記に従って、必要事項を漏れなく入力してください。
 - ・【印刷用】シートは、【入力用】シートへの入力によって自動作成されます。
- (注) 【印刷用】シートへの入力は不可とありますので、ご注意ください。

②申請書(本文)

- ・申請書(本文)は、各記入欄にある注記に十分注意の上、作成してください。

b) 申請書のファイル名の指定 申請書(表紙)・(本文)を作成後、

- ・ダウンロードした申請書には下記のファイル名(【 】内の名称)が付いています。
- ・そのダウンロードしたファイルを矢印(⇒)右側のファイル名に変更して保存してください。
尚、2010KK、分野、申請者氏名、所属機関の間は-(ハイフン)でつないでください。

- ①申請書(表紙)のファイル名【2010KK_hyoushi.xls】⇒ 2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.xls
- ②申請書(本文)のファイル名【2010KK_honbun.doc】⇒ 2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.doc

下表の記載例のように分野を機械は me、電子・情報は el、化学系材料は ch、
物理系材料は ph と書き換えてください。

申請書表紙記載例(本文は拡張子が doc となります)

申請分野	分野記号	申請書ファイル名
機械	me	2010KK-me-申請者氏名-所属機関名.xls
電子・情報	el	2010KK-el-申請者氏名-所属機関名.xls
化学系材料	ch	2010KK-ch-申請者氏名-所属機関名.xls
物理系材料	ph	2010KK-ph-申請者氏名-所属機関名.xls

申請者氏名…申請者のフルネームを、漢字で入力してください。

所属機関名…申請者の所属する大学/学校名を入力してください。略称で結構です。

科研費 研究者番号…科研費の申請時などに用いる研究者番号をお持ちの場合、
記入してください。研究者ページの Link 用 URL 作成に用います。

③PDF へ変換してください。

申請書(本文)(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.doc)全文を PDF に変換してください。

c) 作成時の注意事項

- ・申請書の完成時のファイル容量は、
 - ①申請書(表紙)(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.xls)
 - ②申請書(本文)(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.pdf)を併せて5MB以下に収めてください。

注:送付された「申請書(表紙)(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.xls)」(入力用、印刷用シート)は申請データベース作成用のデータを収集するために利用しますので、Excel のままで申請書(本文)「2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.pdf」とともに送信してください。

pdfへの変換はマツダ財団にて行い、申請書本文と結合いたします。

5MBを超える場合、下記(3)項-a)の電子申請書の送信時、送信先の受付にて受信できない恐れがあります。5MBを超えないよう、支障の無い範囲で、PDFの解像度変更をしてください。

*なお、ファイルの圧縮は申請書の受付に支障をきたしますので行わないでください。

(3) 申請書の送付 … 以下の a)、b) 2つの方法でお送りください。両者をもって受付とします。

a) 電子申請 … 電子申請書(電子ファイル形式の申請書)のホームページからの送信

- ・作成した電子ファイル形式の ①申請書(表紙)・②申請書(本文)を、当ホームページの「電子申請画面」から、送信してください。
- ・送信が完了し、受付が終了した後、「電子申請受付通知」が申請者の元へメールにて返信されます。
- ・送信後、1日(平日)経過しても「電子申請受付通知」が返信されない場合、お問い合わせください。

【HP申請の受付締切日】 2010年6月3日(木)

b) 用紙申請 … 用紙申請書(電子申請書の印刷物)の郵送

- ・a)の電子申請書を次のとおり印刷(プリントアウト)し、用紙申請書としてください。

申請書(表紙【印刷用】):(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.xls)

申請書(本文):(2010KK-分野-申請者氏名-所属機関名.pdf):全ページを印刷(片面印刷)

申請書(表紙【印刷用】)の右上の受付番号欄には、電子申請時に返信された「電子申請受付通知」に記載の「受付番号」を入力してください。

用紙申請書(表紙)へ申請者の捺印後、申請者が所属する機関または部局等の代表者(学部長、研究科長、研究所長、校長等)の推薦(承認印)を受け、本財団宛に郵送してください。

【郵送申請の受付締切日】 2010年6月10日(木)・・・必着